

## 北海道大学・マサチューセッツ大学アマースト校

### 共同研究シードファンド申請

#### 申請者向け要項（抄訳）

北海道大学（HU）とマサチューセッツ大学アマースト校（UMass アマースト, UMA）は、本 *HU-UMA 共同研究シードファンド（HU-UMA Joint Research Seed Fund）* を設立し、協働関係の発展を目指す。本事業の目標は、HU 及び UMA が共同出資するシードファンドをととして、研究訪問、合同打ち合わせ、ワークショップあるいはセミナーを開催し、新規連携開発を支援することである。2026 年は最大 8 名の研究責任者（Principal Investigators, PIs）への経費支援を行うが、北海道側 4 名、UMass アマースト側 4 名とする。研究連携の初期段階を支援する本事業は、長期の連携、組織及び研究関係の構築に繋がるものであること、可能であれば、発表、出展及び／または継続連携のための外部資金申請を生むことが期待されている。事業申請は次のテーマの内いずれかへの繋がりが明示されるべきである。

- 先端農業（再生可能・デジタル農業含む）
- ブルー／グリーンエコノミー、持続可能性とプラネタリー・バウンダリー
- 未来の食糧
- 高分子工学（ソフトマター、先端材料含む）
- 先端製造技術

北海道大学とマサチューセッツ大学アマースト校間の連携については詳細あり：

<https://www.global.hokudai.ac.jp/global/the-university-of-massachusetts-amherst>

<https://www.hokudai.ac.jp/international3/internationalization/academicexchanges/umassamherst/>

#### 本事業の目的

本事業は HU と UMA の連携研究者が、北海道またはアマーストで研究訪問、合同打ち合わせ、ワークショップあるいは研究セミナーを開催する、若しくは既存連携研究者同士の場合には共著論文を投稿するのを支援する。応募申請にあたっては、新規連携を生む、もしくは新興連携を発展させることを希望している、HU か UMA からの最低一名の教員に主導されるものとする。既存連携研究者同士の申請については、資金使途が如何に新たな領域の研究に至るためのものであるのか、如何に連携研究者同士のネットワークを大いに拡張させるものであるのかを明確に示せる場合にのみ、検討されるものとする。

申請書類に記載可能な参加研究者数に限りはないが、若手研究者（Early Career Researchers, ECRs）を含めることが強く推奨される。異分野・他研究所属研究者が入る学際的な申請もまた、強く推奨される。

## 支援経費

新規／新興連携に対しては、**最大 8,000 米ドルの経費支援を 3 件**行い、特定外部資金に対して申請を行うという姿勢を示している PI に対しては、**最大 20,000 米ドルの経費支援を 1 件**行う。

PIs は、申請活動の範囲に基づき、必要経費の根拠を示し、資金要求を行うものとする。UMA と HU はそれぞれの PIs に対して直接資金支給を行う。他原資側に合算使用制限がない限り、資金は当該他財源と組み合わせることが可能である。

申請事業は、2026 年 4 月 1 日から開始するものとし、支弁は HU PIs は 2027 年 3 月 31 日、UMA は 2027 年 8 月 31 日迄に支弁を終えるものとする。当該予算期間資金終了迄に使用できなかった資金は、余剰金を他に回せるよう、HU または UMA 本部に戻すこととなる。

本「2026 年度 HU-UMA 共同研究シードファンド」への申請者は、追って「2027 年度北大 J-PEAKS 連携研究プラットフォーム事業資金」への申請案内があるが、これは、日本の文部科学省による「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）」支弁によるものである；最大 500 万円で 1 件が北大の PI に充てられる。

以下は支弁可、支弁不可の経費の概括であるが、HU 及び UMA の資金運用側は本資金使途について決定権を有することに注意すること。

支弁可経費	支弁不可経費
<ul style="list-style-type: none"><li>PIs（教員）、申請内容に記載された HU または UMA 所属の、博士研究員を含む他研究者の旅費。これは航空券、宿泊費、食費を含む。HU/UMA を訪問するための旅費だけではなく、申請内容に記載された HU/UMA の研究者の招聘旅費を含むことができる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>消耗品や既存職員自給を含む研究費</li><li>（UMA における学期のみの雇用契約教員に対する）夏季期間給与や教育若しくは他義務のバイアウト経費を含む教員の給与</li><li>リサーチアシスタント、ティーチングアシスタントのような職員人件費</li><li>学生への奨学金、授業料</li><li>謝金</li><li>学会参加費</li></ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>• 当該二大学間のワークショップやセミナー，打ち合わせの開催に係る諸経費</li> <li>• 共著論文のための国際ジャーナルへの投稿料</li> <li>• 二大学間の研究連携に必要となる（研究か実験関連の）ソフトウェアの購入</li> <li>• 外部資金申請に係る申請書執筆，編集，グラフィック製作サービス費</li> </ul>	
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

## 応募要件

応募申請は，UMA か HU の教員が主導するものとし，他方の機関（HU か UMA）の連携相手に，申請書に含めることを認める文書を含めなければならない。

PIs は，応募申請期間及び採択期間中，UMA か HU で研究を行う教員か図書館員でなければならない。

UMA か HU と他の学術機関のクロスアポイントメント教員は，そのアポイントされた学術機関／組織が本申請について認識していることを担保し，生じ得る利益相反等への防波堤となることとする。

## 申請案件の審査

申請案件は，次の要件に沿って審査される：

- **テーマとの揃い具合：** 申請書は上述の五つのテーマの一つとの関連性をしかと明示しているか？
- **連携相手の相補性：** 新規・新興連携の付加価値は何か？申請活動は共通の関心と強みを合わせたものであるのか？
- **想定成果：** 計画された活動で期待される成果は何か？申請内容から得られる益や，地元または国際的なコミュニティへの成果は何か？

- **将来の連携／資金確保の可能性：**

8,000 米ドルの申請の場合，申請者は次の点を述べること：本申請が継続的な共同研究を促進する可能性はどの程度あり，どのような仕組みを考えているのか？申請連携計画は，外部資金申請と獲得にどの程度効果的に繋がると言えるのか？20,000 米ドルの申請の場合，申請者は助成機関，産業界との連携，または財団による具体的

な外部資金獲得の機会を追求することを約せねばならない。対象とする資金獲得計画の具体性は、審査で高く評価する。

## 報告及び発表

申請を採択された PIs は、事業終了日から一カ月以内に報告書を提出する必要がある。当該報告書は、行われた活動、支給経費の支出明細、認められた可能性、当該研究に係る将来の行動計画の概括を説明するものとする。

本資金で支援された交流から生じる発表（例えば、論文要旨、論文）や研究情報公開（例えば、公開プレゼンテーション）は全て、本 HU-UMA 共同研究シードファンドによって経費支援を受けた旨を、謝辞で示すこととする。発表物の写し及び／またはプレゼンテーションの情報は、上述報告書に含むか、HU の国際連携推進本部及び UMA の国際関係部署に通知するものとする。謝辞のタイトルは、“北海道大学及びマサチューセッツ大学アマースト校からの、HU-UMA 共同研究シードファンド”となる。

## 研究者の変更と延期

状況が変わる一例えば、PI や研究チームメンバーが申請事業から離脱するという場合には、採択者は HU の国際連携推進本部及び UMA の国際連携部署に通知せねばならない。如何なる変更も、書面によって認められねばならない。

## 募集日程

募集開始	2025 年 12 月 5 日
応募締切	2026 年 2 月 2 日 17:00（各大学）
選考結果通知	2026 年 3 月
予算期間	2026 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日（HU） 2026 年 4 月 1 日～2027 年 8 月 31 日（UMA）

## 応募手続き

指定申請書式を用いた申請書類は、**2026 年 2 月 2 日 17:00（北海道及びアマースト時間）までに**、PI の原籍機関（HU あるいは UMA）にメールで提出するものとする。申請書類は英語記載とし、その分野の専門家以外でも分かるように記載するものとする。HU および UMA の

PI 双方で重複資金を得たい場合には、各 PI はそれぞれ原籍機関で応募し、選出される必要がある。

## 連絡先

本 HU-UMA 共同研究シードファンドや連携可能性のある研究者とのマッチングに係る質問は、次の相談窓口のいずれかに連絡ください：

### HU の PIs

北海道大学 国際連携推進本部 学術主任専門職（国際） 植村妙菜

Email: [taenau@oia.hokudai.ac.jp](mailto:taenau@oia.hokudai.ac.jp) / [grants@research.hokudai.ac.jp](mailto:grants@research.hokudai.ac.jp)

### UMA の PIs

マサチューセッツ大学アマースト校 副プロボストオフィス及び国際連携部署 国際連携マネージャー エリック・ワース

Email: [ewirth@umass.edu](mailto:ewirth@umass.edu)

## 申請書式

### 2026-27 年度 HU-UMA 共同研究シードファンド

#### 申請者情報

名	姓	肩書
所属学科	所属部局	Email

#### 申請

申請する予算規模を選択してください。		(20,000 ドル申請者の場合、)採択額が 8,000 ドルに減額されても、申請交流内容を行う予定ですか？	
最大 8,000 ドル      か      最大 20,000 ドル			
連携相手について特定し、認証文書で連携合意を示すこと			
相手方機関教員	肩書	所属学科	所属部局
相手方機関教員との連携のきっかけ			
活動の想定期間	開始日	終了日	
連携活動の概括（本箇所と次の成果欄を合わせて、計 750 単語）			
期待される成果			

--

## 要旨（75 英単語）

申請内容の要旨（75 英単語以内）／採択時には広報及び通知で使用する場合があります

## 申請予算－経費見積

スプレッドシート書式の申請事業予算を別添し、既存部局予算や連携先からの予算との合算使用について明示すること。申請活動における全ての経費可能性詳細であること(例えば、ソフトウェア購入、旅費、宿泊費等)。

## 補助書類（任意）

自身の研究を説明する、もしくは自身の申請内容を明らかにするに足る追加情報を添付することができる。これは、画像、図、表、グラフを含むがそれに限るものではない。

## 認証文書

北海道大学／マサチューセッツ大学アマーست校の連携相手が、本申請を支援すると確認できる招聘状を含めること。

## 署名&日付

署名	日付

## 報告書式

2026-27 年度 HU-UMA 共同研究シードファンド

日付		
開催場所(あれば)		
HU 側 PI	氏名	
	職位	
	所属	
	E-mail アドレス	
UMA 側 PI	氏名	
	職位	
	所属	
	E-mail アドレス	
<p style="text-align: center;"><b>経費支援対象活動の概括</b></p> <p style="text-align: center;">*事業の目途, 目標, 目的がどの程度達成できたのか等</p> <p style="text-align: center;">**URLs や写真, 図, ワークショップのフライヤー等参照になるものがあれば, ここに記載するか別添に</p>		
<p style="text-align: center;"><b>経費支援対象活動からの成果</b></p> <p style="text-align: center;">*想定発表, 外部資金申請, 共同講義計画等</p>		
<p><b>ファンド使途報告</b></p>		
合計		米ドル or 日本円